令和７年度第３回岡崎市総合政策指針審議会　会議録

日　　時
令和８年１月30日（金）14:00～15:00

場　　所
岡崎市役所東庁舎２階大会議室

出席委員

名古屋都市センター長	奥野 信宏	会長
あいち三河農業協同組合　代表理事組合長	大竹 博久	委員
岡崎市教育委員	千野 智子	委員
岡崎市総代会連絡協議会　会長	長坂 秀志	委員
名古屋大学　名誉教授	福和 伸夫	副会長
岡崎信用金庫　地域振興部　部長	八木 則行	委員
岡崎商工会議所　会頭	山田　泰一郎	委員
早稲田大学　教授	小野田 弘士	委員（WEB参加）

（欠席委員）

名古屋大学　准教授	井料 美帆	委員
東京大学　教授	小川 光	委員
連合愛知三河中地域協議会　事務局長	堀内 健一	委員
岡崎市医師会　会長	山本 潤	委員

（事務局）

総合政策部　部長	岡田　晃典
総合政策部企画課　課長	冨田　浩也
総合政策部企画課　係長	中村　衣里
総合政策部企画課　主査	谷川　寛人

傍聴者
０名

会議要旨
１　議題「パブリックコメントの実施結果について」及び
　　「第７次岡崎市総合計画【後期計画】（答申案）について」

【各委員の主な意見と事務局回答】

○個別計画の中に地域強靱化計画が例示されていない。国においても、強靱化計画と防災計画は別の計画として整理している。国の最上位計画のため、例示した方がよいのではないか。

（事務局回答）

個別計画は、分野ごとに代表的な計画を記載している。ご意見については反映し、地域強靱化計画については記載する。

２　報告「第２期岡崎市まち・ひと・しごと創生総合戦略の評価について」

【各委員の主な意見と事務局回答】

○移住の相談について、相談後、実際に移住してきた人はいるのか。

（事務局回答）

移住者は数名いると聞いているが、この相談から移住につながった実績は現状ない。今後はぜひ実績を作っていきたい。首都圏でＰＲ活動も行っている。移住の課題としては、市街化調整区域では建て替えが難しいことや、家主がリフォームを嫌がる等、居住環境が整っておらず、マッチングが難しいことがあると考えている。

３　その他

○行間や文字揃え等が不揃いのため、再度確認した方がよい。

（事務局回答）

体裁は再度確認してから公開する。

○保育定員の拡充について、定員を増やし待機児童は少なくなっていく予定とあるが、人口減少に伴って保育所に空きが出て、運営できなくなるという事態に陥るのではないか。

（事務局回答）

いずれ余剰が出てくることは予想している。拡充するだけでなく、適切な配置のための合理化が課題になってくる。小学校も同様である。

○県でも、給食センターを 10 年後は３割程度使用しなくなると想定し、民間事業者を交えて今後の新たな使用方法を検討している。

○岡崎市の山間部では、休園の危機にあった保育園が移住者によってなんとか存続できたという話もある。

以上